

第4回 全国健康保険協会徳島支部評議会議事録概要

○日時：2009年2月26日（木）15時～16時30分

○場所：ふれあい健康館 第4会議室

○出席評議員（五十音順 敬称略）

| | |
|-------|------------------------|
| 池上 政弘 | 徳島文理大学専門職大学院 総合政策研究科教授 |
| 加村 祐志 | 日本労働組合総連合会徳島県連合会副事務局長 |
| 勘川 一三 | 徳島県商工会議所連合会副会長 |
| 黒田 泰弘 | 徳島大学副学長 |
| 花野 靖枝 | 四国システム開発株式会社企画管理部長代理 |
| 村上 和行 | 富田製菓株式会社総務部次長 |

○議事次第

1. 第5・6回全国健康保険協会運営委員会について
2. 都道府県単位保険料率について
3. その他

○議事内容要旨

1. 第5・6回全国健康保険協会運営委員会について
事務局より、第5・6回全国健康保険協会運営委員会で行われた議事等について説明。
2. 都道府県単位保険料率について
事務局より、支部として今後予定されている支部長意見に向けて、本部運営委員会及び各支部評議会の意見を紹介し、支部としての方向性を説明後、意見をいただいた。
3. その他
事務局より、10万人当たり病床数など、当県と全国平均等とのデータ比較と分析及び前回の質問事項について説明。

(主な意見の概要)

【都道府県単位保険料率について】

- ・協会けんぽが、経済情勢や地域性・流行性疾病に左右されず、運営を安定させるためには、できるだけ保険母体を大きくした方がよいのではないか。
- ・医療費の適正化や健康に対する意識改革を求めていくことが、今後重要となるが、短期間に効果が出るものではない。
- ・制度導入は仕方のない考えか。全国同一の料率にはもう戻れないと考えるのか。
- ・年齢及び所得調整の他、何らかの調整を行い、支部間において差を小さくできる方法はとれないのか。
- ・激変緩和措置終了後、6年目以降も（料率そのものは）毎年変わることとなるのか。（事務局）毎年度、医療費等のデータに基づき算定され、変更されることを説明する。
- ・協会の方からイベントを進めていったりキャンペーンを張ったりして、健康についてのアピールを行うのも必要ではないか。
- ・衛生管理を行っている事業所は多いと思うが、従業員が軽く考えている部分もある。また、対象をその家族に広げていくのは難しい。
- ・まだ、保険料が変わること自体、わかっていない人もいるのではないか。

【その他について】

- ・一般病床と療養病床の違いとは何か。（事務局）一般病床は急性期の入院、療養病床は長期の入院であることを説明する。

次回評議会開催日程

- 日 程 : 2009年3月19日(木) 15時～17時
- 場 所 : 未定
- 議事内容予定 : 1. 都道府県単位保険料率について
2. その他